

銀座エリア最大、憩いの空間となる約4,000㎡の屋上庭園を創出
銀座六丁目10地区第一種市街地再開発事業「GINZA SIX」
『緑の創出により社会・環境に貢献する開発事業』として認定を取得

銀座六丁目10地区市街地再開発組合(東京都中央区、理事長 茶村俊一)が、中央区銀座六丁目にて推進している銀座六丁目10地区第一種市街地再開発事業「GINZA SIX」は、この度、「社会・環境貢献緑地評価システム(SEGES)」において、『緑の創出により社会・環境に貢献する開発事業(都市開発版SEGES)』として認定されました。

「社会・環境貢献緑地評価システム(SEGES:シージェス)」(運営:財団法人都市緑化機構)は、緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取組みを評価・認定する制度。政府の「生物多様性国家戦略2012-2020」や、「生物多様性民間参画ガイドライン」等にも記載されている評価システムです。



GINZA SIX 外観イメージ



屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」イメージ

銀座エリア最大規模の複合施設「GINZA SIX」は、2つの街区(約1.4ha)を一体的に整備した再開発事業により、商業施設やオフィス、文化・交流施設などの多彩な都市機能とともに、屋上庭園や観光バス乗降所、安全で快適な交通・歩行者ネットワーク、また、非常用発電設備や防災用備蓄倉庫等の防災支援機能等も整備し、地域に開かれた場所として、来街者の利便性や快適性向上に大きく貢献します。

銀座の歴史と文化を踏まえた2つのコンセプトをもつ屋上庭園

銀座エリア最大となる約4,000㎡の屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」は、地上13階、高さ約56mの建築物屋上に位置し、屋上庭園の約56%にあたる約2,200㎡の緑地を新たに創出、世界中から銀座を訪れる人々に、憩いや交流の場を提供します。

「GINZA SIX ガーデン」の植栽は、「江戸の庭園文化」をコンセプトに、サクラやカエデ類など四季の移ろいを感じることができる樹種を採用、江戸の庶民の暮らしで身近に親しまれた庭園や園芸の文化を踏まえた計画です。また、「西欧の広場文化」をコンセプトに、イベント等における活用を重視した広場空間を屋上庭園中央部に配置。広場は、芝生敷きと水盆の2種で構成し、水盆は水を抜くことで平面利用も可能とする等、技術的な工夫により、多様なアクティビティを実現可能とします。

この度、「社会・環境貢献緑地評価システム(SEGES)」において、『緑の効果・効用を活かし、環境面での機能向上と共に、賑わいや憩いの空間としての緑地の利用機能の強化していること。また、新たな緑化技術への挑戦と情報発信する取り組み』などが、社会環境貢献緑地として高く評価され、認定にいたりました。

「GINZA SIX」は、地域社会への責任を果たしながら、日本を代表する銀座エリアの新たな磁力として、国際都市・東京の競争力向上に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

銀座六丁目10地区市街地再開発組合 広報事務局(森ビル株式会社広報室 田澤、深野、佐々)

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp

「自然に親しむ近世江戸の庭園文化」と、「街の賑わいを楽しむ西欧の広場文化」の融合をコンセプト

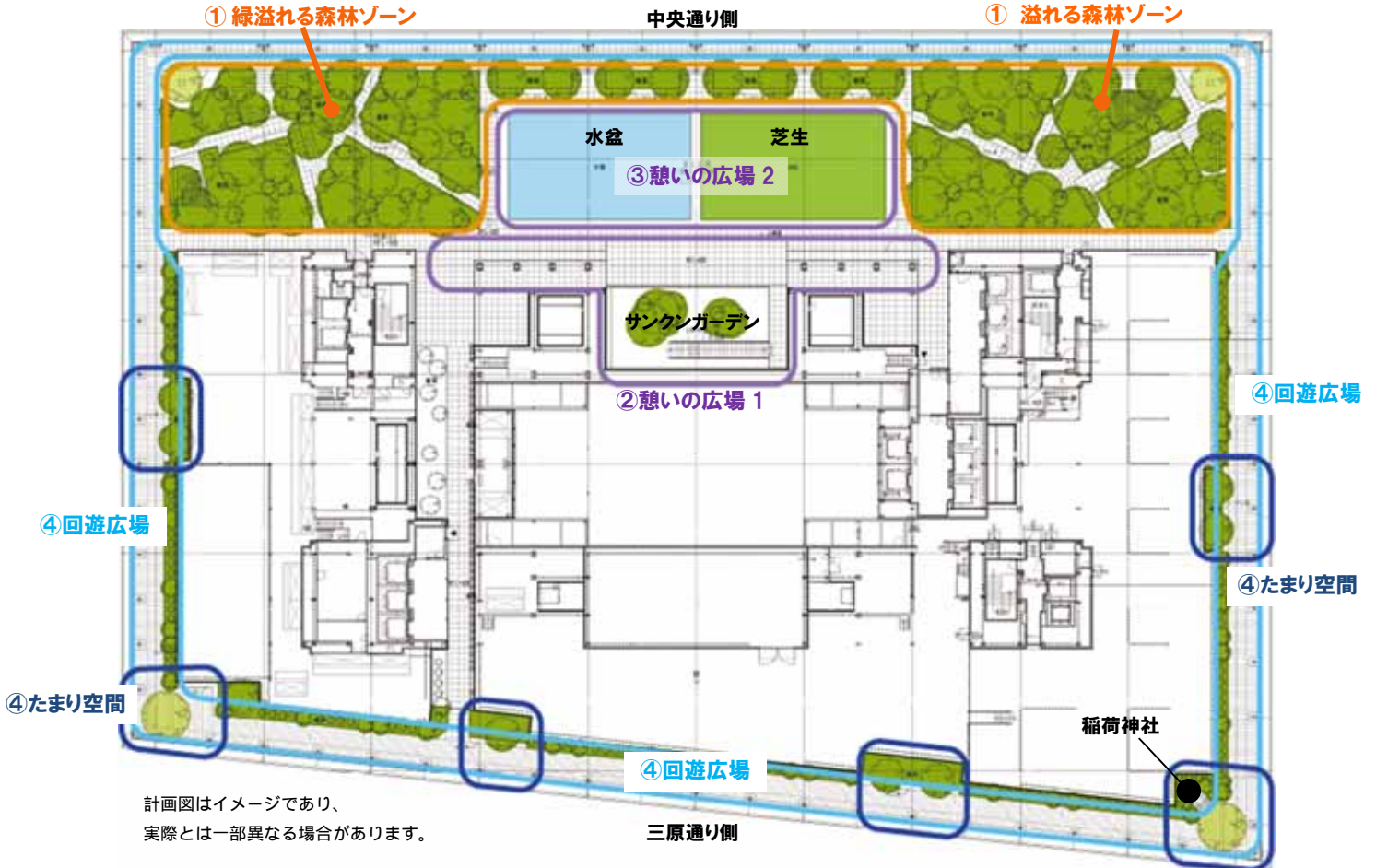
近代の東京において、東洋と西洋が重なり合った街であった「銀座」。この地に誕生する屋上庭園として、GINZA SIX ガーデンは、「自然に親しむ近世江戸の庭園文化」と、「街の賑わいを楽しむ西欧の広場文化」の融合をコンセプトにランドスケープデザインを行っています。

江戸の庭園文化...

回遊性のある空間の中に、様々な景を楽しむ場が点在。春夏秋冬をはじめ、季節の繊細な移ろいを感じる場が設えられ、庭園を舞台に、様々な年中の歳時が催される。

西欧の広場文化...

広場という自由度の高い空間が、あらゆる人々の様々な使い方を許容し、多様な人々が集い、交流・交歓するための装置が設けられている。季節と時間によって、設えが変化する仮設性も確保されている。



① 緑溢れる森林ゾーン

高木・低木の多様な樹種構成により、四季の変化を通じて自然が身近に感じられるエリア。



② 憩いの広場 1

13Fの飲食フロアと屋上庭園を接続するオープンデッキの広場。壁面緑化を積極的に導入。

③ 憩いの広場 2

子供たちが遊べてイベントも開催できる芝生広場と、水面と水音が広場に潤いと快適さをもたらす水盆を配置。水盆は、給水を止めてイベントスペースとしても使用できる。

④ 回遊広場とたまり空間

屋上の外周約370mにも植栽を施すことで、GINZA SIX周辺の各通りや建物から屋上庭園に対する視認性を高めるとともに、屋上に回遊性を持たせることで、部分的な賑わいだけでなく、景観の移り変わりを認識できる連続的な賑わいを創出。回廊の三原通り側には、再開発前からこの地にあった稲荷神社を移設した。



「緑溢れる森林ゾーン」で楽しめる四季の風景

花、新緑、紅葉、樹形のシルエットなど、四季の変化が表出する樹種を用いて植栽を計画。銀座のど真ん中にながら、一年を通して、様々な風景をお楽しみいただけます。

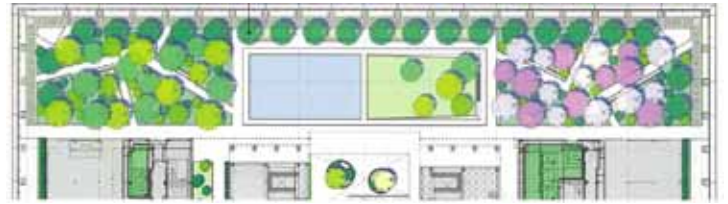
春



カエデの新緑



サクラの開花



夏



夏の木漏れ日



緑陰空間



秋



カエデの紅葉



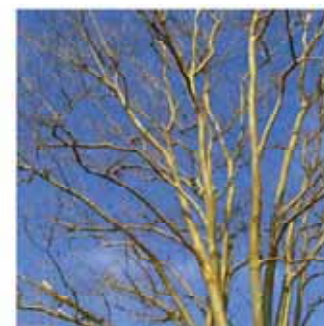
サクラの紅葉



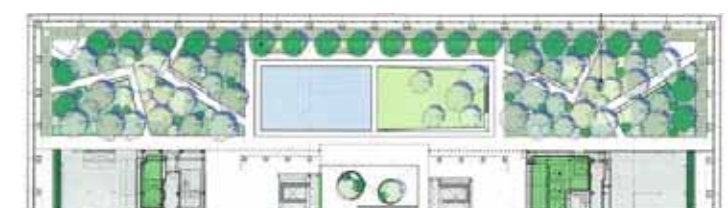
冬



冬の木漏れ日



落葉樹のシルエット



<銀座六丁目 10 地区第一種市街地再開発事業「GINZA SIX」概要>

GINZA SIX は、「松坂屋銀座店」跡地を含む街区(銀座六丁目 10 番)と隣接する街区(銀座六丁目 11 番)の 2 つの街区約 1.4ha を一体的に整備する市街地再開発事業です。約 240 のブランドが集積するエリア最大規模の商業施設、大規模なオフィス、文化・交流施設「観世能楽堂」などから構成された、銀座エリア最大規模の複合施設となります。

計画概要

地区名称:	銀座六丁目 10 地区 (東京都中央区)
事業手法:	第一種市街地再開発事業
施行者:	銀座六丁目 10 地区市街地再開発組合
組合員数:	15 名(2017 年 1 月時点)
所在:	東京都中央区銀座六丁目 10 番 1 号
施設建築物概要:	施行区域面積 約 1.4ha 用途 店舗、事務所、文化・交流施設、地域冷暖房施設、駐車場 敷地面積 約 9,080 m ² 階数 地下 6 階、地上 13 階 建築物の高さ 約 56m 延床面積 約 148,700 m ² 構造 鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
設計:	銀座六丁目地区市街地再開発計画設計共同体 (鹿島建設株式会社、谷口建築設計研究所)
外装意匠統括:	谷口建築設計研究所 谷口吉生
施工:	鹿島建設株式会社
公共施設等の整備:	・観光バス乗降スペースの整備 区域内の区道を三原通りに付替えることで出来る公共用地内に整備するもの ・「あづま通り」下の地下通路整備 ・屋上庭園の整備ほか

経緯及び今後のスケジュール

2003 年 2 月	銀座六丁目地区街づくり協議会発足
2010 年 4 月	銀座六丁目地区市街地再開発準備組合設立
2011 年 12 月	都市計画決定
2012 年 12 月	銀座六丁目 10 地区市街地再開発組合設立、事業認可
2013 年 6 月	権利変換計画認可
2013 年 7 月	既存建物解体工事着手
2014 年 4 月	本体建物工事着工
2017 年 1 月 31 日	本体建物竣工(予定)
2017 年 2 月 1 日	オフィス順次入居開始
2017 年 4 月 20 日	商業施設開業(予定)